

# ゼミナール紹介

担当者名	新井立夫								
e-mail アドレス	<a href="mailto:tatsuo@bunkyo.ac.jp">tatsuo@bunkyo.ac.jp</a>								
研究室	3538								
在室曜日・時限	月：1、3          水：5          木：1、5								
個別説明会（日時・場所）	メール等で、問い合わせをしていただければ、随時、個別対応いたします。								
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20	1/18
	可否	○	○	×	×	○	○	×	×
	場所	1201	1201	統一ゼミ	学会行事	1201 <sup>Ⓜ</sup>	1201	卒論	卒論
2023 年度担当科目	基礎簿記演習、キャリア形成、商業科教育法Ⅰ、商業科教育法Ⅱ、総合演習、教育実習B（高校）、教育実地研究、教職実践演習、キャリア・職業指導、インターンシップ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業研究、公共経営実地演習、教職概論、生徒指導・進路指導論、知恵へのナビゲーション								
選抜方法	提出書類、成績及び面接結果等を総合的に勘案して選抜を行う。								
ゼミナール紹介	<p>本ゼミナールですが、学校種を問わず教員を目指し、教職課程を履修登録している学生は、新井ゼミの履修を必ずしてください。</p> <p>民間企業を目指す学生で、キャリア教育（進路指導含む）及びキャリアカウンセリングの必要性を認識し、企業の人材育成の仕事に従事したい者。</p> <p>公務員を目指す者やNPOなどの団体に就くことを目標とする者、あるいは、将来「キャリア・デベロップメント・アドバイザー」などの取得を目指す学生に履修してほしい。</p> <p>学習は、キャリア教育の意義、必要性を理解することから始まり、キャリアカウンセリングの理論や演習を通し、キャリアコンサルティング、キャリアアドバイザーなど「他人のキャリアを支援する」専門職に就ける人材育成とともに、「自分のキャリアを見つめなおしたい」という目的などを体験的に学び、キャリアビジョンを描き、意図的に行動し、実践できるようになることが、到達目標である。また、必要に応じて研究発表会、ゼミ遠征（新型コロナなどの感染状況による）、自主的な勉強会を実施するものとする。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>①授業中に明示する重要なポイントを概ね理解できる。</p> <p>②キャリア教育・進路指導の実態とその課題を理解できる。</p> <p>③キャリアカウンセリングの必要性を認識し、職業をめぐる諸問題を多面的に学習し、進路指導・キャリア教育の推進のなかで実践できる。</p>								

# ゼミナール紹介

担当者名	青木勝一							
e-mail アドレス	masa@bunkyo.ac.jp							
研究室	3402							
在室曜日・時限	月曜日 4 限 木曜日 3 限							
個別説明会（日時・場所）	ゼミナール説明会（12月6日（水）12:30～13:00 オンラインでの実施）で概略を説明します。それに参加し、さらに疑問や分からないことがあれば、上記 e-mail アドレスに連絡し、アポイントをとって、質問に来てください。							
ゼミ見学可能日（日時・場所）	日付	11/1 (水) 1 限	11/8 (水) 1 限	11/15	11/29 (水) 1 限	12/6 (水) 1 限	12/13 (水) 1 限	12/20
	可否	○	○	×	○	○	○	×
	場所	図書館 2 階（プレゼンテーションエリアまたはアクティブラーニングエリア）または 1302 演習室 ※ 場所は一定しておりません。見学に来る前に上記 e-mail アドレスあてで確認してください。						
2023 年度担当科目	公共経営入門、公共経営論、地域経営論、ソーシャル論、経営学特論 B、知の探究、知のリテラシー、ゼミナール I、ゼミナール II							
選抜方法	成績、希望調書、場合により面接を行う。							
ゼミナール紹介	<p>公共政策は、行政組織が担うものと思われていましたが、今では市民団体や NPO など「新しい公共」へとその担い手が広がり、市民一人ひとりが能動的に社会的課題を考えていく時代になりました。本ゼミではこの現状を踏まえ、受講生が市民の一人として様々な社会的課題をとらえ、考える能力を身につけることを目的とします。</p> <p>本ゼミに適した履修者は、①公務員志望者 ②公益団体や NPO の志望者 ③企業に行く予定ではあるが社会的課題に関心を持つ人 です。</p> <p>テーマは公共政策に関わる地域的課題です。3 年生は各自の関心に基づき幅広いテーマを扱い、4 年生は卒業論文のテーマに絞ることを基本とします。</p> <p>具体的なテーマは参加者の関心に基づき開講時に決めます。</p> <p>ゼミは、毎回の担当者を決め、テーマ（産業、市街地再生、子育てなどの政策）について、調査報告を行います。報告後の残り時間は、報告に基づくゼミ生同士でのディスカッションと補足説明に充てます。受講者が主体的に参加するほど、満足度は上がります。</p> <p>本ゼミは「実践」を重視していますので、難しい理論は不要です。ただし、地域社会全体の「具体的」な課題への熱い思いを持つことが重要です。</p> <p>テーマは各自が自由に選択しますが、調査に際し「何が問題か」をじっくりと考えてもらいます。他の学問分野同様、公共経営でも、制度、統計、実務現場での現状、利害関係者の関係などをよく吟味したうえで課題を捉えることが重要です。ゼミでの報告もこれを踏まえた報告を期待します。</p> <p>ゼミでは問題の解決策についての受講者同士での活発な議論も期待しています。最終的な解決策は一つ選択しなければなりません。様々な解決案を比較して選択するという考え方を身に付けてもらえればと思います。ゼミを通じてこうした思考方法を習得すれば、将来に必ず役に立つと確信しています。</p>							

## ゼミナール紹介

担当者名	浅川 雅美							
e-mail アドレス	asamasa@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	なし							
在室曜日・時限	あだち校舎出校日は月曜日です。							
個別説明会（日時・場所）	事前に、メールをいただければ、月曜日（あだち校舎出校日）の午後に、個別に対応致します。または、水曜日の2時間目にオンラインで対応します。							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/30	11/6	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18
	可否	可	可	不可	可	可	可	可
	場所	1101	1101	-	1101	1101	1101	1101
2023 年度担当科目	消費者行動論（経営学部、湘南校舎共通教養） 生活と広告（湘南校舎共通教養）、個人と社会（湘南校舎共通教養） 社会調査の統計学（情報学部） ゼミナール（経営学部）							
選抜方法	ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。							
ゼミナール紹介	<p>3年生の春学期は、後期に実施する調査のテーマを決めるために、実際の論文を検索して、読んで、その内容を発表してもらいます。そして、秋学期に向けて、研究テーマを決定します。</p> <p>3年生の秋学期は、前期に決めたテーマで、調査を実施してもらいます。具体的な進め方は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査票を作成する</li> <li>調査実施</li> <li>データを入力する</li> <li>データを集計する</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>レポート提出</li> </ul> <p>4年次には、①3年生の時に研究した内容を論文にまとめる、②3年生の時に研究した手法を用いて好きなテーマで再度調査を行う、のいずれかを選択してもらいます。</p> <p>どうぞよろしくお願ひ申し上げます</p> <p>どうぞよろしくお願ひ申し上げます</p>							

# ゼミナール紹介

担当者名	石田 晴美							
e-mail アドレス	ishida@bunkyo.ac.jp							
研究室	3519 教室							
在室曜日・時限	金曜日昼休み							
個別説明会（日時・場所）	実施しない。							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20
	可否	×	○	×	×	○	○	○
	場所		2306 教室			2306 教室	2306 教室	2306 教室
2023 年度担当科目	基礎簿記演習、財務諸表分析、公会計、行政評価、知の探究、 知のリテラシー							
選抜方法	定員超過の場合は、Zoom 等によるオンライン面接を実施する。							
ゼミナール紹介	<p>本ゼミは「財務会計」をテーマとする。</p> <p>教員が与えたテーマについて学生が調べ発表する形式と企業の財務諸表分析・日経新記事深読み発表を交互に行う。各テーマでは、基本書・参考書の他、会計基準等の原本に必ず触れることを心がけている。</p> <p>ゼミ在籍中に日商簿記 3 級試験に合格することがゼミ生に課せられる最低限の課題である。</p> <p>評価方法は、ゼミナールへの参加、授業への取り組み、課題の提出、日商簿記 3 級の資格取得等により評価する。無断欠席は認めない。</p> <p>公認会計士、税理士等の会計専門職を志望する学生を歓迎する。</p> <p>ゼミは、学生自らが調べ考え、発表する場であることを肝に銘じること。</p>							

## ゼミナール紹介

担当者名		石塚 浩						
e-mail アドレス		ishizuka@bunkyo.ac.jp						
研究室		3410 研究室						
在室曜日・時限		月火水金 (ゼミナール実施曜日：ゼミナールⅡ月曜4限、ゼミナールⅠ月曜5限)						
個別説明会(日時・場所)		予定なし						
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	10/30	11/6	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	2106	2106	2106	2106	2106	2106	2106
2023 年度担当科目		人間と経営学 経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ 組織デザイン論						
選抜方法		提出書類 成績						
ゼミナール紹介		<p>グローバル化が進み、ITの継続的な発展によって将来、今ある仕事のいくつかは消滅するといわれます。今後、人間に求められる仕事は、答えのない課題を創造的に解決することです。場合によっては、課題そのものが与えられていないこともありえます。</p> <p>このゼミナールでは、経営戦略について考えることをテーマにしています。経営戦略とは会社を存続させ発展させる方法のことです。最近では会社以外に、自治体などの非営利組織も対象です。この経営戦略について「考えること」「議論すること」を徹底的におこないます。将来の世の中において不可欠な人材になってもらうためです。</p> <p>経営戦略の理論や手法を学んだうえで、実際の事例をみていきます。この会社の戦略行動は、自社並びに業界にどんな影響をもたらすのか。自分が経営者なら、どう判断するか。担当部署の人員であるなら、何をどう提案するか。これらがテーマになることが多いです。加えてグループワークを行います。ひとりで解決できるビジネスや社会の問題は少ないです。じっくりと議論することで、問題の本質がみえ、解決策がみつきやすくなります。ほんものの議論は創造的な結果をもたらすからです。</p> <p>このゼミでは、4年生になってから、卒業論文の執筆をしてもらいます。経営学部では卒論を書かなくても卒業はできますが、創造性を育み発揮させる良い機会と考えています。みずから選んだテーマに対して、リサーチクエストを設定し、先行研究を行った上で、未だ指摘されていない独自の解を作り出すという創造的な営為の醍醐味を味わってほしいと思います。</p>						

## ゼミナール紹介

担当者名		上山 晋平						
e-mail アドレス		<a href="mailto:shinpei_kamiyama@bunkyo.ac.jp">shinpei_kamiyama@bunkyo.ac.jp</a>						
研究室		3520						
在室曜日・時限		金曜日・2～4 限						
個別説明会（日時・場所）		11/20（月）4 限・2207 演習室						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/30	11/6	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18
	可否		○	○	○			
	場所		2207	2207	2207			
2023 年度担当科目		管理会計論、原価計算論						
選抜方法		申込人数によっては抽選を実施する。						
ゼミナール紹介		<p>本ゼミナールでは、主として管理会計、原価計算およびキャリア形成の方法について学びます。</p> <p>3 年生の春学期は、基本書のテーマごとに担当者を決め、レジュメを PowerPoint で作成、報告頂き、ゼミ生間で討論を行います。適宜、演習の時間を設け、計算の習得を行います。ゼミ生の希望によっては、日商簿記検定試験 2 級取得に関する授業を行います。また、本格的な就職活動に向けて、就業体験のできる夏期インターンシップ参加に向けて、準備を進めて参ります。</p> <p>秋学期は、管理会計のより専門的な分野となる、企業価値評価を含む経営分析の方法について学びます。また、より実践的な能力を身に付けるため、企業にご協力いただき、インタビュー調査を行う予定です。</p> <p>4 年生は、各人が興味を持ったテーマについて研究、報告をしていただきます。任意で卒業論文を作成していただく予定です。最終的に、ゼミナールの履修を通じて、自らの意見を自分の言葉で表現できるようになることを目的とします。</p> <p>ゼミナールの雰囲気は、全体的に真面目で和やかです。ゼミ生が協力しながら授業を進めているように感じます。とくに計算演習の時間には、互いに教えながら進めているようです。この雰囲気を維持できるようにしていければと思います。ゼミナールは、学生生活の中で互いに啓発し合える貴重な場です。協力し合って有意義な時間を過ごしましょう。</p>						

## ゼミナール紹介

担当者名	金 必中(キム ピルチュン)				
e-mail アドレス	pjkim@bunkyo.ac.jp				
研究室	3535				
在室曜日・時限	月・3限、木・2限				
個別説明会(日時・場所)	実施しない。希望者はメールでご連絡ください。				
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	11/27	12/4	12/11	12/18
	可否	○	○	○	○
	場所	1203 演習室	1203 演習室	1203 演習室	1203 演習室
2023 年度担当科目	マーケティング、マーケティング戦略、マーケティング戦略事例研究、 マーケティング・リサーチ、マーケティング・リサーチ演習、流通論、 ビジネスソリューション演習、知へのナビゲーション				
選抜方法	提出書類、成績、面接に基づいて、総合的に判断します。				
ゼミナール紹介	<p>金ゼミは、マーケティング戦略と流通に関するさまざまなテーマに関して勉強するゼミである。企業経営や流通、オンライン・マーケティング、消費者に関する諸問題についてマーケティング観点から捉えて幅広く具体的に理解するとともに、マーケティング戦略立案の実戦的で専門的な知識とノウハウについて勉強することを、目標とする。</p> <p>ゼミは、事例研究と文献の輪読を通じて知識体系を整いながら、ゼミ参加学生の関心分野を中心に多様なテーマを取り上げて、小グループ活動と発表を通じて有効なマーケティング戦略の立案と実行について検討しながら進めていく。必要に応じて企業や市場の見学も行い、環境変化と分析、実戦的な知識と調査分析手法についても勉強し習得して、各自の問題解決能力やプレゼンテーション能力を高めるとともに、4年生とも交流しながらゼミ生全体のレベル・アップを図る。</p> <p>マーケティング研究は人間の研究でもあり、ゼミの活動やその成果はゼミ生のリレーションシップとチームワークが何より大切だと考える。したがって、金ゼミは、やる気と誠実さ、マーケティング研究に強い興味や関心をもち、真面目に学問探求に取り組む意思と姿勢をもっている学生達の参加を求める。そして、多様なゼミ活動の際には、原則全員参加とする。</p>				

# ゼミナール紹介

担当者名	首藤 洋志					
e-mail アドレス	<a href="mailto:shuto@bunkyo.ac.jp">shuto@bunkyo.ac.jp</a>					
研究室	3414 研究室					
在室曜日・時限	火、水、木。事前にアポイントのメール連絡後、個別相談日時等の調整を行う。					
個別説明会(日時・場所)	11/29(水)を除く授業終了後に、ゼミ生と教員によるゼミ説明会(Q&A 込で 15 分程度)を実施する。参加希望者は、ゼミ見学に参加することを推奨。					
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	11/1 水-1 限	11/8 水-1 限	11/15 水-1 限	11/29 水-4 限	12/13 水-1 限
	場所	ゼミ見学(+ゼミ説明会)の参加希望者は、希望日の 3 日前までにメール(学籍番号、氏名、希望日を記載)で連絡すること。ゼミ見学人数確定後、詳細を連絡する。				
2023 年度担当科目例	<前提科目> 財務会計論Ⅰ、基礎簿記演習 <推奨科目> 財務会計論Ⅱ、中級簿記、企業会計、デジタル表現基礎、(監査論)					
選抜方法	①ゼミナール見学状況、②Google フォームに記載の志望動機、及び③成績(GPA)を総合的に勘案して選抜を行う。なお、必要に応じて面接を行うことがある。					
ゼミナール紹介	<p><b>主なテーマ:</b>          《基礎》 財務会計・国際会計(IFRS)・財務諸表分析          《発展》 会計(財務報告)×(ダイバーシティ、サステナビリティ及びパーパス経営)</p> <p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 《通年》 輪番読書〔個人読書プレゼン→Q&amp;A→ディスカッション〕</li> <li>➢ 《基礎》 学術論文の精読〔チームプレゼン→Q&amp;A→ディスカッション〕</li> <li>➢ 《基礎》 財務諸表(経営)分析〔チームプレゼン→Q&amp;A→ディスカッション〕</li> <li>➢ 《発展》 研究+発表(主に秋学期。GOAL は International Seminar 発表。)</li> </ul> <p><b>到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ゼミの仲間と協働し、多様性を受け入れる。</li> <li>➢ 主体的に考えたうえで、積極的な発言でディスカッションに参加する。</li> <li>➢ 個人(チーム)発表について、自信をもって発表できるように準備を行う。</li> <li>➢ 財務諸表の分析手法を学び、財務諸表を読むことができるようになる。</li> <li>➢ 各自半期ごとに目標を定めて、その目標達成に向けて努力する。</li> <li>➢ 4 年次には、卒業論文を執筆する。</li> </ul> <p><b>教員が大事に考えていること</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ゼミの主役はゼミ生。</li> <li>➢ ディスカッション等への参加意欲、プレゼン能力の向上意欲をもつ。</li> <li>➢ 一生懸命学び、仲間とともに挑戦し、大きく成長する意識をもつ。</li> <li>➢ 社会人になるための基礎的な礼儀作法を習得し、社会的な心構えをもつ。</li> <li>➢ 同学年のゼミ生、先輩ゼミ生(4 年生)との関係性(つながり)を大切にする。</li> <li>➢ 学ぶときは全力で学び、楽しむときは全力で楽しむ！</li> </ul> <p><b>イベント・企画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ゼミ生主導のもと、①3、4 年生コラボゼミ〔年 4 回〕、②懇親会、③International Seminar(日中韓ビジネスプレゼンテーション大会)〔2 月〕、④ゼミ合宿等を企画。</li> <li>➢ 本ゼミに参加する学生は、2 月に開催予定の International Seminar における発表を年間目標とする。(参考)2024 年 2 月の開催場所は福岡県北九州市。</li> </ul>					



## ゼミナール紹介

担当者名	鈴木 誠							
e-mail アドレス	mcsuzuki@bunkyo.ac.jp							
研究室	3501 研究室							
在室曜日・時限	水曜日・木曜日・金曜日の昼休み							
個別説明会（日時・場所）	ゼミ見学の際に個別に説明します							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20
	可否	可	可	可	否	可	可	否
	場所	3301	3301	3301		3301	3301	
2023 年度担当科目	企業と市場の経済学、ファイナンス論、応用ミクロ経済学、産業組織論、知のリテラシー、知の探究、データ処理基礎、基礎統計学、自然科学ほか							
選抜方法	<p>① 前提科目を履修していること（履修していない場合は採用しません）</p> <p>② 選抜では GPA を考慮します</p> <p>③ 責任を持って勉強する意欲を有する学生を採用します</p>							
ゼミナール紹介	<p>ゼミナールは主体的に学修・理解を深めることを目的として、以下を行います。 ゼミナールで「行くこと」と「行わないこと」</p> <p>① <b>ゼミナールでは英語のファイナンスのテキストを輪読します</b>          毎回、1 人から 2 人が担当し、発表箇所について全員が何らかの質問を発表者に質問をします。発表者は質問を想定して、発表する範囲をしっかりと理解し、発表することが求められます。          ※前提となるファイナンスを履修していないと英語のファイナンスの書籍を輪読することは困難ですから留意してください。</p> <p>② <b>SPI をしっかりと学習します</b>          ゼミ I の後期では SPI のテストを定期的実施します。就職試験に利用される試験は SPI だけではなく、SPI はいわば基礎なので、基礎力を強化するためにも有効です。ただし、学習は原則各自で行いますが、判らないところは説明する形態で行います。</p> <p>③ <b>合宿をします</b>          ゼミでは 3 年生を対象とするゼミの合宿を行います。合宿地は山形県の最上という静かで自然が豊かな農村です。この農村で 1 週間程度の合宿を行い、農家の農作業の手伝いをします。農作業を通して農家の人々が生産する農作物がどのようにしてできているかを知ることができるでしょう。こうした他に例の無い体験はとても貴重です。</p> <p>④ <b>飲み会などは(あまり)おこないません</b>          ゼミの運営としては、合宿時に友人関係を構築できるので、通常の時に授業外で飲食の会をゼミで実施することはありません。</p> <p>以上</p>							

# ゼミナール紹介

担当者名	田中 克昌							
e-mail アドレス	<a href="mailto:k.tanaka@bunkyo.ac.jp">k.tanaka@bunkyo.ac.jp</a>							
研究室	3510 研究室							
在室曜日・時限	出校日：月曜日・火曜日・水曜日							
個別説明会（日時・場所）	ゼミ見学のみ。ゼミ見学は、事前に田中宛（上記 e-mail）に連絡ください							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20
	可否	○	○	○	×	○	○	卒論発表会
	場所	3302 1 限	3302 1 限	3302 1 限	×	希望に応じて対応		卒論発表会
2023 年度担当科目	経営戦略論、情報化戦略、ビジネスモデル設計、ベンチャー企業戦略論、プログラミング(春)、ゼミナールI、ゼミナールII、知の探究、知の基礎能力							
選抜方法	志望時の文章、ゼミ見学、GPA 等から総合的に判断します							
ゼミナール紹介	<p>ゼミナールでは、学生が自らのミッションやパーパスを設定したうえで、実践的なワークショップに取り組みます。具体的には、「2030SDGs ワークショップ」や「2050 カーボンニュートラル・ワークショップ」等を通じて、世界と私たちとのつながりを実感し、ビジネスを通じて社会に貢献する方法について考えます。</p> <p>2022 年度・2023 年度は、「丸亀製麺」「コナズ珈琲」などを展開するトリドール・ホールディングス主催の「持続可能ビジネスコンテスト」にゼミ生全員で取り組み、「最優秀賞」を獲得しました。</p> <p>こうしたビジネスコンテストでは、これまで学修した経営学（経営戦略論やイノベーションなど）の知識を活かして、商品開発や事業戦略について検討し、他大学とも競い合いながら、自分らしさを発揮して提案する力を身につけます。</p> <p>※「華叉祭（11 月 12 日(日)12:00～）」では、ビジネスコンテストの優勝賞品として、丸亀製麺のキッチンカーが来訪し、うどん 200 食を無料で提供します。</p> <p>次年度以降も、「持続可能ビジネスコンテスト」や「産学連携ビジネスコンペティション」等、対外的なビジネスコンテストへの出場を通じて、企業と連携し、学生が提案できる機会を設けていきます。また、カナダ大使館ツアーや、他大学との合同ゼミ等の企画も用意しています。</p> <p>多様かつ熱心な学生と学ぶ機会を共有できることを楽しみにしています。</p> <p>&lt;田中ゼミ紹介ホームページ&gt;  <a href="https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/business/learn/seminar/class21/">https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/business/learn/seminar/class21/</a></p>							

## ゼミナール紹介

担当者名	遠山道子							
e-mail アドレス	toyama3@bunkyo.ac.jp (見学希望者は事前にメール連絡をお願いします)							
研究室	3 4 3 1							
在室曜日・時限	水・木・金 昼休み							
個別説明会(日時・場所)	なし							
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20
	可否	不可	不可	不可	可	可	可	不可
	場所				1203	AITADE ホール	AITADE ホール	
2023 年度担当科目	ゼミナール I・II、知のリテラシー、知の探究、英語							
選抜方法	定員超過の場合は履修状況により選抜を行う							
ゼミナール紹介	<p>このゼミナールのテーマは「ことば」と「こころ」です。日本語、英語、音声コミュニケーション、外国語、ことばと心理、ことばと文化などをキーワードとして、調査や実験に挑戦してみたい人に向いていると思います。</p> <p>春学期は、下記のテーマを扱う論文を読みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>シズルワード</b>： 「ふわとろ」「こったり」などの食に関する言葉</li> <li>・ <b>ほめ言葉</b>： 性格により異なる「ほめ言葉」の好み。文化により異なる「ほめ方」「叱り方」。「ほめ言葉」の種類(容姿、性格、成果)とモチベーション。</li> <li>・ <b>方言</b>： 方言と好感度。博多弁は好印象? 広告における方言の効果的な使用。</li> <li>・ <b>外国語</b>の表記： 商品パッケージや広告における外国語表記。消費者が、外国語表記の方が日本語表記よりも「買いたい」と思う条件とは?</li> <li>・ <b>フォント</b>： スーパーや書店で目にする POP 広告のフォントは購買意欲に影響するか? 手書きのほうが、PC フォントより好感度が上がるか?</li> <li>・ <b>聞きとりやすい話し方</b>： 声の高さ、抑揚、スピード、言い淀みやフィラー(「えーと」や「あのー」など)は聞きとりやすさや印象に影響する?</li> <li>・ <b>伝え方と嫌悪感・反発心</b>： 効果的なルールや注意事項の伝え方。①「教科書を持参しましょう」②「教科書を忘れないでください」③「教科書を持ってきなさい」④「教科書を忘れないようにしなさい」のうち、学生の反発心が一番低いのは?</li> </ul> <p>論文は輪読してもらいます。輪読とは、皆で協力して理解していく作業です。遠山ゼミでは、分担箇所の発表資料を作成し、わかりやすい言葉で解説(発表)し、読んだ内容について質疑応答・議論してもらうことで、読む、まとめる、資料作成、伝える、アクティブリスニング、質疑応答、議論のスキルアップを目指してもらいます。</p> <p>夏休みに「ことば」と「こころ」について自分の研究テーマをさがしはじめ、秋学期には、研究の種類、仮説の立て方、研究方法、実験方法、調査紙作成、分析方法を学び、各自の研究をスタートさせます。</p>							

# ゼミナール紹介

担当者名	根本 俊男							
e-mail アドレス	nemoto@bunkyo.ac.jp							
研究室	教育研究棟 4 階 3422 研究室							
在室曜日・時限	水曜日・金曜日							
個別説明会（日時・場所）	特に説明会は実施しませんが、個別相談で対応します。研究室のドアを気軽にノックしてください。水・金曜日に在室していることが多いです。							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20
	可否	×	×	×	○	○	○	×
	場所	教室変更時は 1101 に案内→			1101	1101	1101	
2023 年度担当科目	スケジューリング，ネットワークモデル分析 A/B，最適化モデル分析，問題解決技法演習，情報数理特論							
選抜方法	「ネットワークモデル分析 A」及び「同 B」の単位を修得済または現在履修中で単位修得見込みの状況であることが志望の前提条件です。志望者多数の場合は、「ネットワークモデル分析 A/B」の授業参加状況と成績を基に選抜します。							
ゼミナール紹介	<p>現代社会で重要な能力として広く認知され、強く求められている能力の一つは「問題解決力」です。根本ゼミナールはこの「<b>問題解決力を有した人材</b>」を育てるゼミナールです。ゼミナールで用いる主な道具は、科学的手法で問題解決に切り込むオペレーションズ・リサーチ(OR)です。ゼミナール志望の前提条件となっている「ネットワークモデル分析 A/B」など DS/OR 分野の講義群を通じて OR の基礎はすでに習得していると思います。それらの知識を 3 年時の学習でさらに増強し、ゼミナールでさらに深め、総合的に結び付けて思考する訓練を通じて、様々な課題の解決に向き合える能力獲得を到達目標とします。</p> <p>このように書くと、理論的なイメージを抱くかもしれません。しかし、問題解決力の養成には、理論だけでなく実際の課題に取り組んでみるのが効果的です。そこで、ゼミナールでは手と頭の両方を実際に動かし、様々な問題解決の実践を通じて問題解決力を養います。</p> <p>具体的には、3 年次前半では主に問題解決手法に関する専門書に沿い各自が発表し、議論を通じて問題解決に必要な基礎知識や基礎ツールの使い方の補強を行います。あわせて、物事の見方の図解法、他者とのコミュニケーション手法のトレーニングも行います。夏休みには、全員参加で夏合宿を予定しています。3 年次後半では、実習で理解を深めます。問題解決に利用できるソフトウェアも扱います。学外での政策/ビジネスコンテストへチャレンジするゼミ生もいました。4 年次には、各人が設定した問題解決に資するテーマの下で卒業研究に取り組み、大学 4 年間の学びの集大成となる卒業論文をまとめます。</p> <p>新しいことに挑戦したり、わからないことを思考したりするのが嫌いではない。ただ、今までは具現化が足りなかったかもしれない。しかし、「自分で取り組んだ！」と実感できる創造的な活動を通じて大学を楽しみたい(卒業したい)との願望を持っている方にお勧めしたいゼミナールです。</p>							

# ゼミナール紹介

担当者名	堀田 敬介							
e-mail アドレス	khotta@bunkyo.ac.jp							
研究室	3530							
在室曜日・時限	月・火・水							
個別説明会（日時・場所）	単独の説明会を行わない。質問等はメールにていつでも受付。ただし、メールの書き方はビジネスマナーに則ること							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/30	11/6	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18
	可否	○	○	×	○	○	○	○
	場所	1106	1106	—	1106	1106	1106	1106
2023 年度担当科目	「問題解決技法入門」「問題発見技法」「知の基礎能力」「知の探究」「意思決定科学」「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」「卒業論文」							
選抜方法	前提科目を満たしていること。定員を超えた場合、前提科目及び「問題解決技法入門」「問題発見技法」履修済/成績上位の学生を優先。面談等は実施しない							
ゼミナール紹介	<p>企業や公的機関，組織や社会には，解決を待っている問題がたくさん潜んでいる。より良い活動や組織運営のためには，それらの問題を見つけ出して（問題発見），きちんと定義し（問題定義），改善のために適切なモデル化を行い，上手く解き，得られた解を評価し，解決策を提示する（問題解決），という一連の意思決定過程を要する。昨今，巷では AI が話題であるが，そこで重要な影の技術の 1 つが最適化である。</p> <p>本ゼミでは，1，2 年次に得た基礎知識を再確認し，最適化やシミュレーションを用いた問題発見・問題解決の勉強に取り組む。これらの手法について，その前提となる知識の再確認・演習と，使いこなすための講義・演習を行う。学生が，現実の事例や，将来，自身に関わる問題について，問題発見，モデル化・定式化から解の導出，評価・改善・提案を一人で実施できるよう，最適化やシミュレーションの技術・知識をしっかりと身につけることを目標とする。</p> <p>ゼミに所属した際には，「DS/OR 系」のうち以下 5 科目を履修することを課す。これらは全て，本ゼミの目標達成に必要な知識・技術であるので，それぞれしっかり取り組み単位取得して欲しい。</p> <p>標準履修 2 年次の 3 科目（未修得の場合）</p> <p>3 セメ「問題発見技法(2)」「スケジューリング(2)」「ネットワークモデル分析 A(2)」</p> <p>4 セメ「ネットワークモデル分析 B(2)」</p> <p>標準履修 3 年次の 2 科目</p> <p>5 セメ「最適化モデル分析(4)」</p> <p>6 セメ「意思決定科学(2)」「問題解決技法演習(2)」</p> <p>※ただし，卒業に必要な必修/選択必修科目と曜日時限が重なる場合は，そちらの科目を優先してよい</p>							

## ゼミナール紹介

担当者名		山崎 佳孝						
e-mail アドレス		yyama@bunkyo.ac.jp						
研究室		3412						
在室曜日・時限		月曜日の 12 時～13 時 （研究室に来る場合、事前に Gmail で連絡してください）						
個別説明会（日時・場所）		① ゼミ見学会終了後に実施（時間に余裕がある場合） ② 希望者は Gmail で連絡してください（日時設定後に実施）						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20
	可否	○	○	×	○	○	×	×
	場所	2304	2304	-	2304	Aitade Hall	-	-
2023 年度担当科目		知の基礎能力（プレゼンテーション担当）、経営組織論、多文化と経営、人的資源管理論、人材開発論、キャリア開発研究						
選抜方法		選抜方法は書類審査が中心です。書類審査の内容：①申請書、②成績表 ※書類審査で内容の確認をする場合、連絡することがあります。						
ゼミナール紹介		<p>① 山崎ゼミは、原則としてすべて対面授業です。理由はゼミ生同士の対面によるコミュニケーションを大切にしているからです。グループ内でのコミュニケーションからの学び、クラス全体でのコミュニケーションからの学び、プレゼン経験からの気づきと振り返りによる学びが大切だと考えています。プレゼンは苦手だけれども上手になりたい人。チーム力を伸ばしたい人。グループでのコミュカを伸ばしたい人は大歓迎です。</p> <p>② 山崎ゼミの扱うテーマは、グローバルリゼーション、異文化マネジメント、国際人材開発です。具体的にはグローバル人事、外資系企業、異文化コミュニケーション、国や企業文化、グローバルリーダーシップです。テーマ別の関連資料を使ってグループ・プレゼンを行い、知識の習得を図ります。資料を読み理解することも大切ですが、グループで話し合い、ゼミで発表することでより能動的に理解を深めることが大切です。秋学期にはグループで研究調査活動を行い、12月6日に他のゼミと合同で発表会を行います。</p> <p>③ その他の主な活動として、3つ紹介します。（1）「異文化コミュニケーション能力アップ」のために、外国人講師を招いて基礎編と応用編の講座を2回行います。（2）「春と秋の課外活動」「夏の合宿：三浦海岸」を行いました。（3）ゼミで毎回「国際ニュース」の紹介を行います。これは、①と②に関連した活動です。1分間程度でニュースの紹介と意見を発表します。これはプレゼン能力の向上（人前での発表に慣れること）と世界のニュースについての知見を広げることを目的としています。</p> <p>ゼミ生同士でコミュニケーションを希望している人、海外・異文化関連について興味がある人、グループやチームでの一緒に活動に関心がある人は歓迎します。経営学部 HP のインスタグラムで山崎ゼミを紹介しています。参考にしてください！</p>						

# ゼミナール紹介

担当者名	山本 颯一郎							
e-mail アドレス	yamamoto@bunkyo.ac.jp							
研究室	3427 (3号棟 [研究室棟] 4階)							
在室曜日・時限	月曜 2 時限、木曜 4 時限							
個別説明会 (日時・場所)	(実施しない)							
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	1105	1105	1105	1105	1105	1105	1105
2023 年度担当科目	民法Ⅰ、民法Ⅱ、会社法、経済・経営活動と法、情報と法							
選抜方法	<p>応募の要件は<b>民法Ⅰの単位取得</b>(単なる履修は不可)。応募者数が定員を超えた場合は、法律系科目の成績、全体の成績、取得単位数の多寡、希望する理由(面接を行うことがある)等を総合的に見て選抜する。</p>							
ゼミナール紹介	<p>○ゼミの共通テーマは、「情報通信ネットワークにかかわる法律を学ぶ」。インターネットにかかる法律問題を、広く学んでいく。ネットに関するさまざまな法律・事件・事例について取り上げ、検討し考察する。すでに一定の解決を見た問題点について、法的論点を明らかにして可否を論じる。未解決のものは、妥当な解決策を模索していく。場合により諸外国の法制度等も参照する。</p> <p>○ネットワーク法(情報法)の基礎的文献の講読より始め、文献の読み方、リサーチのしかた、プレゼン・議論・レポート作成等のスキルを磨きつつ、ネット法の基礎的知識をひと通り網羅する。そのうえで、各個に追究するテーマを設定し、より深く探究する。</p> <p>○情報法にかかる法分野は多岐にわたるが、それ故本学にて開講される法律系科目は可能な限り履修・学修すること。特に<b>民法Ⅰは必須</b>である。また3年生以降に開講される民法Ⅱ、情報と法、労働法、法と行政なども履修すべきである。</p> <p>○ゼミナールは、一同に集まり報告・質疑応答・議論する。そのため授業時間外で周到な準備が必要である。授業時間より多くの時間と労力をかけてリサーチ等を行うのが前提である。座学よりも積極的・能動的にならなければゼミで学ぶ意味はない。ゼミでは、率先して質問し議論に参加することが求められる。</p> <p>○定期試験等は実施しない。普段の課題への取り組み、個別の報告・発表、質疑や議論、期末の報告書等を総合的に評価する。</p> <p>○社会の状況しだいであるが、実際の裁判を傍聴して、法律運用のナマの現場を見るということも復活させたい。</p>							